

ハンス・ペーター・デュル博士 Dr. Hans-Peter Dürr

1929年10月7日、ドイツ・シュトゥットガルト生まれ。科学者。83歳。

核物理学、素粒子工学、素粒子重量学、認識論、哲学の分野で優れた論文多数。科学者の責任とエネルギーポリシーについての提言多数。現在、世界中で講演をしているが、その内容は現代物理学の問題を自然科学の領域からだけではなく、広く人文科学や宗教の関連のなかで捉えている。

経歴

1953年 シュトゥットガルト大学にて修士号取得

1956年 カリフォルニア大学バークレー校のエドワード・テラーのもとで物理学博士号取得。その後、バークレー校とインド・マドラス校客員教授

1958-1976年 ハイゼンベルク研究所研究員

1962年 ミュンヘン大学にて教授資格取得

1972-77 ドイツ、マックス・プランク物理学研究所副所長

1978-1992年 マックス・プランク物理学・宇宙物理学研究所所長を歴任

1969~1997年 ドイツ、ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン物理学教授

1997年 定年退職

現在は、マックス・プランク物理学・宇宙物理学研究所の名誉理事長、ミュンヘン大学名誉教授。

ウエルナー・ハイゼンベルグ (Werner Heisenberg) の後継者として核物理学、素粒子工学、素粒子重力学、認識論、哲学を専門とする。

1980年にパグウォッシュ会議のメンバーとなり、世界平和のために行動する。1983年にマインツで開かれた科学者の”平和への責任”を問う3300人の科学者集会の副発起人となった。ここでマインツ・アピールと知られる非核武装宣言が行われた。1990年にはゲッチンゲンで開かれた大規模な宇宙の軍事利用に対する反対集会も主催した。デュル博士はドイツのほ

とんどの有名大学で講義を行った。スターウォーズ計画で知られるアメリカのSDI（戦略防衛構想）計画に反対意見を述べている。

1986年に博士は、世界平和イニシアティブを提案。SDI計画と同予算を地球環境問題と貧困と不平等の撲滅に使う事を提言した。これが後日、Global Challenges Networkと発展し、1987年に、もう一つのノーベル賞と言われるライト・ライブリフト賞（Right Livelihood Award）を受賞する。同年の授賞者にはヨハン・ガルトウング博士がいる。1984年にはワングリ・マータイ博士も同賞を授賞している。

最近は、国際的環境運動に貢献している。国際的な環境保護団体（NGO）であるドイツのグリーンピース委員を務め、国際経済開発協議会の会員である。1995年、ノーベル平和賞を受賞した国際組織である、科学と世界の諸問題に関するパグウォッシュ会議でドイツ代表を務めた。1996年、国連でイスタンブールのハビタット会議（国連人間居住会議）における諮問グループのメンバーとなった。

また、デュル博士はローマクラブの会員でもあり、ウィーン国際アカデミーでは平等な持続可能性の開発を提唱し、エネルギーの効率と充足の重要性を強調している。

2005年にはダニエル・ダーム氏（Daniel Dahm）とロドルフ・リップ氏（Rudolf zur Lippe）と共にポツダム・マニフェストをラッセル・アインシュタイン宣言（1955）のフォローアップとして発表し、20人のライト・ライブリフト授賞者を含む世界の多数の科学者が署名している。

2006年からは、世界未来協議会の評議員を務めている。

受賞

- ライト・ライブリフト賞（ストックホルム）1987年
- エコロジー賞（ドイツ）1990年
- オルデンプルク大学哲学学部、名誉博士号 2002年
- ドイツ連邦共和国功労勲章 2004年 ほか多数

著書

- *Das Netz des Physikers*, Hanser Verlag, 1988.
- *De la Science à l'Éthique*, *Bibliothèque Albin Michel Sciences* 1988.
- *Respekt vor der Natur - Verantwortung für die Natur*, Piper Verlag, 1994.
- *Die Zukunft ist ein unbetreter Pfad*, Herder Verlag, 1995.
- *Zukünftige Energiepolitik* (co-author), Economica Verlag, 1995.

- 『精神と自然——自然科学的認識と哲学的世界経験の間の対話』（共著）木鐸社、1995年
- *Gott, der Mensch und die Wissenschaft* (co-author), Pattloch Verlag, 1997.
- *Für eine zivile Gesellschaft*, dtv 2000.
- *Wir erleben mehr als wir begreifen* (co-author), Herder spektrum, 2001.
- *What is Life? Scientific Approaches and Philosophical Positions* (co-author, co-ed.), World Scientific, 2002.
- *Wirklichkeit, Wahrheit, Werte und die Wissenschaft* (co-author, co-ed.), BWV, 2003.
- *Auch die Wissenschaft spricht nur in Gleichnissen*, Herder spektrum, 2004.
- H.P.Dürr/Raimon Panikkar: *Liebe - Urquelle des Kosmos – Ein Gespräch über Naturwissenschaft und Religion*, Herder Vlg. (Herder Tb.5965), Freiburg 2008.